

「彦根愛知犬上地域一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）」に対する意見公募の結果について

彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町および多賀町（以下、1市4町とする。）における「彦根愛知犬上地域一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の策定にあたり、下記のとおり計画素案に対する意見公募を行いました。皆様から頂いたご意見は、主旨を損なわないように要約および整理したうえで、1市4町の考え方とともに公表いたします。なお、本計画に直接関係しないご意見につきましては、1市4町の考えは記載しませんが、意見項目およびその件数を公表いたします。

1. 計画素案の公開と意見の提出期間

令和4年1月17日（月）～令和4年2月15日（火）

2. 公表資料

- (1) 彦根愛知犬上地域一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）
- (2) 彦根愛知犬上地域一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）（概要版）

3. 計画素案の閲覧方法

1市4町のホームページおよび公共施設での冊子による閲覧

4. 1市4町それぞれの提出人数および意見件数

市町	提出人数	意見件数
彦根市	6人	21件
愛荘町	1人	2件
豊郷町	3人	18件
甲良町	2人	6件
多賀町	1人	5件
合計	13人	52件

5. 意見の内訳

- (1) 計画（案）の修正を行うもの 2件
- (2) 計画（案）の修正を行わないもの 32件
- (3) すでに計画（案）に記載済みのもの 2件
- (4) その他 16件

6. 提出された意見および1市4町の考え

(1) 計画（案）の修正を行うもの

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
1	彦根市	計画全体	市民、町民および事業者が理解しやすいように、文章表現を見直すべきではないか。	本計画の作成にあたり、市民、町民および事業者に配慮した表現を心がけていますが、一部項目についてはごみ処理の専門的な内容が含まれており、やや難解な部分もございます。主に意見公募で頂いたご指摘をもとに再度確認し、平易に記載できる部分については表現を改めます。
2	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 3. 将来ごみ量の推計 (2) 将来ごみ量（減量目標）	将来ごみ量（現状趨勢）および将来ごみ量（減量目標達成）の意味が分からない。	将来ごみ量（現状趨勢）とは、ごみ減量施策を実施せず、ごみ排出量実績値の傾向のまま推移した場合を想定した将来ごみ量です。 一方、将来ごみ量（減量目標）とは、ごみ減量施策を実施し、減量目標を達成した場合を想定した将来ごみ量です。 中でも、現状趨勢は馴染みのない言葉であることから、将来ごみ量に係るページにおいて、現状趨勢の説明記載箇所を改めます。

(2) 計画（案）の修正を行わないもの

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
3	彦根市	計画全体	計画が183頁もあるが、住民が読むにあたり、頁数の膨大さは見直してもらいたい。	1市4町全体に係る内容に加えて、各市町の計画を合冊しているため、ページ数が多くなっております。本計画の内容を要約した概要版も作成していますので、併せてご参照ください。
4	豊郷町	第1章 総則 第3節 ごみ処理行政の動向および関連計画 1. 国際的な潮流と国内の動向	計画において、国際的な動向、国の第五次環境基本計画の概要が示されており、また、第四次循環型社会形成推進基本計画の概要が示され、今まで取り組んでこなかった事業を含めて、将来的にごみを減らすための施策や展望が書かれている。これを絵に描いた餅にしないように協議し、まとめるのが彦根愛知犬上広域行政組合の責務ではないか。	国の定める各計画を参照しながら、彦根愛知犬上地域において採用可能なごみ処理施策を講じていく方針です。なお、本計画の策定をはじめ、ごみ減量等のごみ処理施策は1市4町の所掌事務であり、彦根愛知犬上広域行政組合は、新ごみ処理施設整備の観点から1市4町に対して提言を行います。
5	豊郷町	第1章 総則 第3節 ごみ処理行政の動向および関連計画 2. プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	プラスチック資源循環に向けた関係主体の役割において、市町村および消費者のみならず、事業者、国および都道府県にも「資源循環の措置を講ずるよう」と求めている。今まで彦根愛知犬上広域行政組合議会においてプラスチックごみ削減の視点での取組を協議してこなかったことは問題ではないか。	ごみの分別、資源化方法等の検討は1市4町の所掌事務になります。本計画の策定にあたり、1市4町で統一したごみ分別方法を検討し、その中でプラスチック類の分別方針についても協議しております。 これまで彦根市では容器包装プラスチックを分別しており、また、プラスチックごみ削減の取組を推進してきたところですが、今後は4町においても本計画に基づきプラスチックごみ削減の取組を進めてまいります。
6	豊郷町	第1章 総則 第3節 ごみ処理行政の動向および関連計画 3. 滋賀県の動向	第五次滋賀県廃棄物処理計画における、3Rの推進を含めた様々な取組を実現していけば、必ずごみを減らしていけると考えられる。	滋賀県の施策を参照しながら、ごみ減量に向けて取り組んでまいります。
7	豊郷町	第1章 総則 第3節 ごみ処理行政の動向および関連計画 4. 彦根愛知犬上地域を総括した関連計画 (3) 「湖東定住自立圏共生ビジョン」(Vol.17令和3年4月)彦根市	環境イベントの参加者数目標（令和6年度に410人）が低すぎる。また、市町別に実施するのか、どのような企画であるか示されておらず、イメージが持てない。	本項目に記載する環境啓発イベントおよび参加者数目標は、1市4町が共同して実施する環境啓発イベントとして「湖東定住自立圏共生ビジョンVol.17」に掲載しているものであり、イベント項目については、第2章第2節4.(4)環境啓発活動に記載しております。 また、参加者数目標は、過年度の参加状況等をもとに設定しております。各

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
				市町では、これらの共同して実施するイベント以外にも、独自で自然観察会等の活動を実施しております。
8	彦根市	第1章 総則 第3節 ごみ処理行政の動向および関連計画 4. 彦根愛知犬上地域を総括した関連計画 (3) 「湖東定住自立圏共生ビジョン」(Vol.17 令和3年4月)彦根市	「ごみ処理広域化調整事業」に5年間で2,241,144千円の予算が計上されているが、具体的な用途を示してもらいたい。	彦根愛知犬上広域行政組合の廃棄物処理に係る事業の1市4町負担金額であり、中山投棄場の維持管理経費や、小八木中継基地の運営および不燃ごみの処理費用、また、新ごみ処理施設建設に係る調査や施設整備・造成等設計、施設造成工事費用等となります。
9	豊郷町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 2. 1市4町のごみ分別方法統一方針について (1) ごみ分別方法統一方針検討経緯	住民アンケートを実施した時期には、プラスチック分別に関する国の方針が定まっていなかったこと等があり、プラスチック類を燃やす方向に「○」をされた方が多かったと考えられる。しかし、現在はプラスチック類を燃やさない選択が求められており、彦根愛知犬上広域行政組合の中で、この議論を深めてもらいたい。施設整備交付金云々の問題ではない。	1市4町の住民の皆様アンケートを実施した結果、4町においては、プラスチック類を焼却した方が良いとする方が、分別・資源化をする方が良いとする方よりも多い結果になりました。しかし、昨今の国内におけるプラスチック資源循環促進の動向を鑑み、1市4町の首長による協議の結果、新ごみ処理施設を供用開始する令和11年度からは、1市4町でプラスチック類を分別・資源化していく方針となりました。このことについては本計画の第2章 第2節 2. (1) ごみ分別方法統一方針検討経緯 に記載しております。
10	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 2. 1市4町のごみ分別方法統一方針について (1) ごみ分別方法統一方針検討経緯	P.21~22にごみ分別方法統一化等検討委員会の意見があり、ここを読むと、熱回収とはなんでも燃やすことのように思われる。たくさん燃やしておきながら、熱回収するという考え方はおかしい。地球環境を考えれば、まず、ごみを減らすことが最優先されるべきである。ごみを減らし、経費が削減できれば、介護などの社会保障に予算が使えることになる。	本計画ではごみ減量目標、プラスチック類をはじめとした資源化の促進を定めています。それでもなお発生するごみで焼却が必要なものについては、焼却処理をすることとしておりますが、焼却熱の回収による発電等の熱回収により、環境負荷の削減に寄与できるよう努めてまいります。
11	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 2. 1市4町のごみ分別方法統一方針について (2) ごみ種別分別方針	合成皮革(かばん・靴等)の分別方法について、彦根市は「燃やすごみに含む」、4町は「燃えないごみに含む」、そして統一方針では「燃やすごみ」としている。 最終処分場にも関連し、「燃やさないこと」に固守すべきではないか。 1市4町における従来の基準において、最も厳しいもので統一されたい。一旦分別基準を緩めると、市民および町民の意識が低下し、ごみ分別が促進されなくなると思われる。	ごみとして排出される合成皮革(かばん・靴等)は資源化が困難なものであることから、焼却処理されることが多いのが実情です。4町では、現在、リバースセンターにおいて、合成皮革はRDF化(ごみ固形燃料化)の破碎処理に適さないことから、燃えないごみとして収集しております。 新ごみ処理施設供用開始後に合成皮革を燃やさないごみとして収集した場合、施設内での選別作業が必要になるため、分別方法の統一方針においては燃やすごみとしております。 なお、かばん等に付属している金具等、焼却不適物が燃やすごみに含まれると、焼却炉の損傷が懸念されます。収集カレンダーおよび広報等を通じて、ごみ排出時における留意点を周知してまいります。
12	多賀町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 2. 1市4町のごみ分別方法統一方針について (2) ごみ種別分別方針	プラスチック類の分別について、環境省の指針では資源化を推進されているが、プラスチック類の収集、分別および選別に費用と人的労力を要する。プラスチック類の資源化は費用対効果が低いと考えられている。	費用負担の軽減は図っていききたいものの、脱炭素やプラスチック資源循環の動きが今後ますます加速されていく時代にあっては、プラスチック類は分別・資源化していくべきではないかとの考えから、分別・資源化していく方針となりました。なお、汚れの落としにくく、資源化に適さないプラスチック類については焼却し、熱回収いたします。
13	豊郷町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について	ごみ減量目標が低いと考えられる。少なくとも3割減は目指すべきではないか。	ごみ減量を推進する必要がある一方、過度な減量目標を設定すると、市民、町民および事業者の皆様に対して多大な負担をおかけすることになります。また、達成困難な減量目標を設定し、それに基づきごみ処理施設の規模

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
		3. 将来ごみ量の推計 (2) 将来ごみ量(減量目標)		を設定すると、将来的にごみ処理施設の処理能力が不足し、ごみ処理において最も重要である公衆衛生の維持に支障をきたすことにもなります。 本計画で設定した、「燃やすごみ、燃やさないごみおよび粗大ごみの1人1日当たり排出量を、令和13年度に令和元年度実績値から15%の減量」という目標は、他市町の計画と比較しても厳しい目標値となっており、現段階でこれ以上の減量目標を設定することは難しいと考えております。
14	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 3. 将来ごみ量の推計 (2) 将来ごみ量(減量目標)	数年に一度の計画の改訂との事であるが、CO ₂ の削減実行がこれほど声高に求められているのにごみ削減目標15%が上限とは認識が甘過ぎるのではないかと。彦根市内唯一の高架煙突から吐き出されるCO ₂ を大胆に減らさずして、(CO ₂ 削減目標年度の1つである)令和12年をどうやって迎えるのか。大凡半減を目指さなければならないのではないかと。あまりにも計画値が低いと言わざるを得ない。	ごみ減量を推進する必要がある一方、過度な減量目標を設定すると、市民、町民および事業者の皆様に対して多大な負担をおかけすることになります。また、達成困難な減量目標を設定し、それに基づきごみ処理施設の規模を設定すると、将来的にごみ処理施設の処理能力が不足し、ごみ処理において最も重要である公衆衛生の維持に支障をきたすことにもなります。 本計画で設定した、「燃やすごみ、燃やさないごみおよび粗大ごみの1人1日当たり排出量を、令和13年度に令和元年度実績値から15%の減量」という目標は、他市町の計画と比較しても厳しい目標値となっており、現段階でこれ以上の減量目標を設定することは難しいと考えております。 ごみ減量目標に加えて、プラスチック類の分別・資源化を行います。また、新ごみ処理施設では焼却熱の回収による発電等を実施する予定です。これらにより、二酸化炭素排出削減目標に寄与できるように努めてまいります。
15	豊郷町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 3. 将来ごみ量の推計 (2) 将来ごみ量(減量目標)	ごみ減量目標15%は低すぎる。滋賀県は令和12年までに二酸化炭素排出量の50%削減目標(平成25年度比)を示しており、これに見合ったごみ減量目標が必要ではないかと。	ごみ減量を推進する必要がある一方、過度な減量目標を設定すると、市民、町民および事業者の皆様に対して多大な負担をおかけすることになります。また、達成困難な減量目標を設定し、それに基づきごみ処理施設の規模を設定すると、将来的にごみ処理施設の処理能力が不足し、ごみ処理において最も重要である公衆衛生の維持に支障をきたすことにもなります。 本計画で設定した、「燃やすごみ、燃やさないごみおよび粗大ごみの1人1日当たり排出量を、令和13年度に令和元年度実績値から15%の減量」という目標は、他市町の計画と比較しても厳しい目標値となっており、現段階でこれ以上の減量目標を設定することは難しいと考えております。 ごみ減量目標に加えて、プラスチック類の分別・資源化を行います。また、新ごみ処理施設では焼却熱の回収による発電等を実施する予定です。これらにより、滋賀県の二酸化炭素排出削減目標に寄与できるように努めてまいります。
16	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 3. 将来ごみ量の推計 (2) 将来ごみ量(減量目標)	ごみ減量目標は低すぎると考えられる。そのことは、令和元年度のごみ総発生量を基準に減量目標を計算すれば明確である。①減量無し、②5%減量、③15%減量、④50%減量それぞれを計算すると以下のとおりである。 ① 減量無し 42,764t/年÷365日/年=130.6t/日(分別時127.9t/日) ② 5%減量 124.1t/日(分別時121.6t/日)	ごみ処理施設は、一年の間に点検・補修の休止期間もあり、年365日運転稼働しているわけではありません。ごみ処理施設の規模は、1年間における稼働日数をもとに算出します。また、故障等による一時停止(処理能力低下)を考慮した調整稼働率および災害廃棄物の処理余力も施設規模に見込まれています。以上を加味したうえで、新ごみ処理施設整備基本計画では施設規模を算出されています。 また、達成困難な減量目標を設定し、それに基づきごみ処理施設の規模を設

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
			<p>③ 15%減量 111.0t/日（分別時 108.7t/日）</p> <p>④ 50%減量 65.3t/日（分別時 64.0t/日）</p> <p>15%削減なら 109t/日、50%削減なら 64t/日の施設規模で済む。ごみの分別、生ごみの乾燥を促進すれば、さらに施設規模を縮小でき、新ごみ処理施設整備基本計画で設定した 144t/日の熱回収施設規模は不要ではないか。</p>	<p>定すると、将来的にごみ処理施設の処理能力が不足し、ごみ処理において最も重要である公衆衛生の維持に支障をきたすことにもなります。</p>
17	彦根市	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について</p> <p>3. 将来ごみ量の推計</p> <p>(2) 将来ごみ量（減量目標）</p>	<p>「※15%減量は、施設整備基本計画で設定した熱回収施設規模以下にするために必要な目標値」とはどういう意味か。</p>	<p>彦根愛知犬上広域行政組合が策定した新ごみ処理施設整備基本計画において、熱回収施設の規模を設定しています。また、組合では同計画で設定した施設規模に基づき、施設整備を進めています。万が一組合が想定した施設規模を上回る将来ごみ量を想定すると、施設整備の再検討による事業の遅延等が懸念されます。</p> <p>そのため、本計画では、組合が想定した熱回収施設の施設規模と乖離しないような将来ごみ量の減量目標を検討し、その結果が「燃やすごみ、燃やさないごみおよび粗大ごみの1人1日当たり排出量を、令和13年度に令和元年度実績値から15%の減量」となりました。</p>
18	彦根市	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について</p> <p>3. 将来ごみ量の推計</p> <p>(2) 将来ごみ量（減量目標）</p>	<p>ごみ減量目標の設定において 15%削減と記載しているが、1市4町全体における令和13年度の1人1日当たりごみ排出量は、現状趨勢で 813g/人・日となっている。この数値から 15%削減した量を計算すると 691g/人・日になるが、計画の減量目標は 712g/人・日となっている。</p>	<p>本計画の減量目標の設定方法は以下のとおりです。</p> <p>① ごみ種の中でも特に減量が必要と考えられる、「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」、「粗大ごみ」を対象に減量目標を設定。</p> <p>② 上記3ごみ種の1人1日当たりごみ排出量（g/人・日）について、令和13年度に令和元年度実績値比で 15%削減すると想定。</p> <p>③ 資源ごみおよび集団回収は現状趨勢を採用。</p> <p>以上の設定に基づき算出された令和13年度の1人1日当たりごみ排出量が、712g/人・日になります。</p>
19	彦根市	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について</p> <p>3. 将来ごみ量の推計</p> <p>(2) 将来ごみ量（減量目標）</p>	<p>減量目標年度は、新ごみ処理施設が供用開始する令和11年度にするべきではないか。ごみ処理施設を建設した後のごみ減量目標を設定しても施設規模（処理能力）には反映されず、一旦大規模のごみ処理施設を建設されればごみ減量には注力されないと思われる。</p>	<p>ごみ処理基本計画策定指針（平成28年9月環境省）では、一般廃棄物処理基本計画の目標年度は、計画策定時から10～15年後程度とされています。本計画は令和4年度に策定し、目標年度は10年後の令和13年度とすることから、ごみ減量目標も令和13年度に設定しています。なお、本計画で設定したごみ減量目標は、令和11年度に供用開始となる新ごみ処理施設の処理能力を踏まえて設定しております。</p>
20	彦根市	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について</p> <p>3. 将来ごみ量の推計</p> <p>(2) 将来ごみ量（減量目標）</p>	<p>彦根愛知犬上広域行政組合が策定した新ごみ処理施設整備基本計画では、熱回収施設の規模は 147t/日（容器包装プラスチックを分別すれば、144t/日）にしている。本計画で設定したごみ減量目標 15%では施設規模は 123t/日程度になるということか。</p>	<p>施設整備基本計画策定時は、平成28年度までのごみ排出量実績をもとに、一定のごみ減量がなされると想定して将来ごみ量を推計し、施設規模を設定しております。一方、本計画では、令和元年度までのごみ排出量実績をもとに将来ごみ量の推計を見直し、そのごみ量をもとに彦根愛知犬上広域行政組合において施設規模を検討されます。</p> <p>そのため、施設整備基本計画で想定した施設規模に 15%の減量目標を適用するわけではございません。</p>
21	彦根市	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針</p>	<p>彦根愛知犬上地域では、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画統合の方向性で語られているが、ごみ処理施策については共通事項が多く、特に重点</p>	<p>ご意見のとおり、今後は1市4町共同によるごみ減量、ごみ処理および環境啓発等の施策の推進が必要と考えております。1市4町担当部局による定</p>

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
		針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策	施策部分（ごみ処理方策、減量啓発策およびイベント等）は、地域で横串を通した組織運営活動すれば、より大きな成果が期待できると考えられる。	住自立圏推進協議会環境・ごみ処理部会において定期的に協議を行い、ごみ処理施策の具体的な方針について検討していく予定です。 また、彦根愛知犬上広域行政組合が整備を進める新ごみ処理施設では、一般の方々向けの見学設備、環境啓発設備の導入が検討されています。ごみ処理施策における広域行政組合との協働についても検討を進めてまいります。
22	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策	首長としてごみ減量と新ごみ処理施設計画についてどのように考えるか、1市4町の広報にシリーズで連載し、住民の声を聞いてはどうか。	ごみ処理施策に関する啓発活動の一つとして、検討させていただきます。
23	多賀町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策	資源ごみの収集方法について、以下のとおり提言する。 ① 紙類、びん類、缶類、金属類、廃食用油および飲料透明容器については、各市町で分別精度に差があると考えられるため、1次分別（選別）を行った後、ごみ処理施設に搬入されることが望ましい。費用負担は、全体量からの逆累進とし、収集量と資源化量が同量になるように努めるべきである。 ② 廃乾電池については、全体量からの逆累進とし、収集量と資源化量が同量になるように努めるべきである。	資源ごみを各市町で選別し、その後に新ごみ処理施設に集約するためには、1市4町それぞれで中継基地の整備および運営が必要となり、多大な費用増加となってしまいます。そのため、各市町において、新ごみ処理施設供用開始の令和11年度までに、ごみの分別基準の周知徹底に努めてまいります。
24	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策	イタリアにおけるゼロウェイスト運動の知見に基づき意見する。 生ごみおよび庭ごみを分別収集して、堆肥化、メタン発酵（液肥と固体残渣を堆肥化して農業利用）により、一般廃棄物の4割近くは削減可能である。さらに分別ごみの資源化（リユース、リサイクル）により焼却量は大幅に削減でき、温室効果ガス排出削減、巨額のごみ焼却施設の建設費用節減になる。イタリアでは、全国で330の自治体がゼロウェイスト宣言をしている。また、韓国では生ごみの95%が堆肥化、メタン発酵処理されている。 ゼロウェイスト化で焼却から資源循環、循環型経済へ転換されることを願っている。	ご意見にあるような、生ごみの分別・資源化が進んでいる国と比較すると、日本においてはごみ処理における焼却への依存度が高いと認識しています。ごみの分別、収集および処理方法の転換については継続して検討していく必要があると考えております。今後、生ごみ堆肥化の推進に向けて検討・取組を進めてまいります。
25	愛荘町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策	新ごみ処理施設においては、過大な設計をせず、焼却中心の考えから脱却し、廃棄物政策の流れと地球温暖化対策の観点により、何でも燃やすようなことをせず、燃えるごみの分別により資源化を促進すること。熱回収はリサイクルにならない。焼却は燃やして灰にするだけの減容化である。生ごみは堆肥化等の資源化をする、また、焼却施設から総合リサイクル施設にすべきではないか。	本計画ではごみ減量目標、プラスチック類をはじめとした資源化の促進を定めています。生ごみの堆肥化や新聞等古紙のリサイクルによる燃やすごみの減量に取り組むこととしており、それでもなお発生するごみで焼却が必要なものについては、焼却処理をすることとしておりますが、焼却熱の回収による発電等により、環境負荷の削減に寄与できるよう努めてまいります。
26	彦根市	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策	ごみ処理施策には多くのテーマが明記されているが、実行されなければ意味がない。時間軸の入った「アクションプラン（誰が、いつ、何を）」は誰が作成し、公表されるのか。また、そのPDCA確認はいつされるのか。それらはすべて「彦根市廃棄物減量等推進審議会」が役割分担されるのか。	本計画におけるごみ減量目標の達成状況、ごみ処理施策の実施状況等については、1市4町それぞれで、一般廃棄物処理実施計画を毎年度作成し、各年度における具体的なごみ処理施策の実施方針を定めます。また、1市4町による定住自立圏推進協議会環境・ごみ処理部会において、圏域におけるごみ処理状況について定期的に情報共有いたします。なお、彦根市廃棄物減量

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
			<p>ごみ減量意識の向上を図るため、例えば環境月間を定め、基本計画の実践状況などを展示し（見える化して）、市民および町民への浸透を図ってみてはどうか。</p>	<p>等推進審議会は、彦根市のごみ処理に係る事項を審議する場であり、4町それぞれの審議は、各町の環境審議会等で実施されます。</p> <p>ご提案いただいた環境月間の設定につきましては、彦根市では、「びわ湖の日」が定められ県内で環境保全活動が行われている7月を独自の環境月間「エコチャレ月間」と定めています。4町においても環境月間の導入を検討いたします。</p>
27	愛荘町	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について</p> <p>4. ごみ処理施策</p>	<p>ごみ処理において安易に焼却をすることは、住民、行政および施設整備運営においては楽であろうが、真の費用削減には繋がらない。ごみ分別と回収の観点から見直しが必要ではないか。</p> <p>ごみの減量をするには、住民の協力も必要である。ごみを出す側の努力（減らすこと、分別すること）と、それに対する何らかのインセンティブは必須である。行政には知恵を出してほしい。</p> <p>施策の事例として、リサイクル達成率による還元、民間活用、住民へのリユース、売却等の方策、施設でのリサイクルマーケット開催が考えられる。</p>	<p>本計画においてごみ分別方法の見直しを行い、新ごみ処理施設を供用開始する令和11年度から、1市4町でプラスチック類を分別・資源化する方針といたしました。プラスチック類の分別・資源化を契機に、ごみの分別・資源化の徹底へのご協力を周知してまいります。</p> <p>ごみ減量、資源化につきましては、本計画で定めた施策に基づき推進いたします。</p> <p>また、ごみの減量、資源化に協力していただいた市民および町民の皆様に対するインセンティブにつきましては、先進事例等を参考にしながら、今後検討いたします。</p>
28	甲良町	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について</p> <p>4. ごみ処理施策</p>	<p>私達のごみ問題を考える場合、社会経済の在り方に踏み込まざるを得ない一面があると思われる。もちろん個人の対応も重要である。</p> <p>私の子供時代、高校生当時も、ごみ問題がクローズアップされた記憶があまりない。買い物手伝いもしたが、買い物かご持参は当たり前。お菓子類もお菓子屋の店にはガラス付きのケースから、「〇〇グラムください」と注文し、紙袋による量り売りをしていました。また調味料類については、味噌は大きな樽入りで、醤油、酢、お酒等は全て瓶入りであった。また、洗面器、桶等日用品もすべて木製か金属製であった。</p> <p>このように、リユースが当たり前、「もったいない」「無駄使いしない」というのが庶民生活の日常であったと思う。ところが、プラスチックが開発され普及するにつれ、身の回りのほとんどの品々・容器包装紙は化学製品に置き換わった。まさに大量生産、大量消費、大量廃棄の現実にぶち当たっているのではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、プラスチックはその汎用性の高さから、あらゆる場面で利用されてきました。しかし、海洋プラスチック問題、温室効果ガス排出による地球温暖化等の問題が顕在化し、プラスチック依存からの脱却が課題となっています。</p> <p>令和4年4月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行予定であり、消費者、事業者、行政それぞれにおける、プラスチック削減および資源循環への取組が求められています。1市4町においても、新ごみ施設供用開始の令和11年度から、プラスチック類の分別・資源化を実施していく方針を本計画で定めました。</p> <p>昨今、従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動として、サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進が国の方針として掲げられています。1市4町においても、プラスチックの分別・資源化を契機に、循環型社会の形成に寄与するよう努めてまいります。</p>
29	彦根市	<p>第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について</p> <p>第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について</p> <p>4. ごみ処理施策</p> <p>(1) ごみ減量に向けた方策</p>	<p>ごみ減量に向けた方策において、各市町の取組で「住民、事業者それぞれが果たす役割について、ホームページ、広報および出前講座等で周知」と明記されているが、減量の協力を依頼するためには、「1市4町に存在する全自治会に各市町が出向いて減量を説明」と明記されるべきである。ホームページおよび広報の閲覧、申込のあった出前講座のみの対応等、行政が楽をするような対応では、市民および町民にごみ減量の理解は得られない。1市4町の全職員が一丸となって、時には減量への協力について涙を流しながら熱弁をふるい、市民および町民に訴えることが必要である。このような活動を通じて、市民および町民のごみ</p>	<p>ご意見のとおり、ごみ減量目標の達成に向けて、住民および事業者へのごみ減量のご協力呼びかけには、行政職員による不断の努力が必要です。ごみ減量をはじめ、ごみ処理施策の推進に向けて、1市4町で共同し、圏域一体となって、情報提供方法の工夫や対話型の啓発活動の実施等により継続的な啓発を行い、住民および事業者の皆様のごみ減量意識の向上に努めてまいります。</p>

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
			減量意識向上につながると思われる。	
30	甲良町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策 (1) ごみ減量に向けた方策	徳島県の上勝町では、ごみを数十種類に分別して集めており、また、ごみ収集車が無いと聞いている。住民が協力しあって分別し、リサイクル等に努力されている事例である。 今、世界中で気候危機が言われており、ごみを減らす取組は大事である。私達住民もごみ問題に関心を持ち、できるだけプラスチック用品を使わない、食品ロスを減らす等、出来ることをしていくことが必要だと思う。行政こそ、他の自治体の良い取組を学び、ごみ減量に取り組むべきではないか。	1市4町では、市民および町民の居住地とごみ処理施設の立地を鑑みた効率的で円滑なごみ収集を実施する必要がある、現在のごみ分別区分と収集車による収集を実施しております。 地球温暖化による気候変動対策はごみ処理においても必須であり、1市4町では、プラスチック類の資源化や新ごみ処理施設における焼却熱の回収・利用により、温室効果ガスの削減に取り組んでいく予定です。また、ごみ減量施策につきましては、本計画に基づき、市民および町民の皆様への周知徹底を図ってまいります。
31	彦根市	第3章 彦根市 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 第2節 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 6. ごみ処理施策 (1) ごみ減量に向けた方策 3) 彦根市の取組	ごみ減量を促進するためには、市民および行政が一体となつての協働が必要である。そのためには、ごみ減量施策における彦根市の取組において、ごみ処理企画、事業委託およびその活動推進補助として、ごみ減量推進支援事業を導入してもらいたい。	彦根市では、現在、生ごみを堆肥化する「簡易生ごみ処理」の普及・啓発を市民団体に委託し実施していますが、令和3年4月には簡易生ごみ処理のさらなる普及・推進を目的として、委託団体の代表者や学生、市職員等で構成する「彦根市ごみ削減推進協議会」を立ち上げ、堆肥化の種となる「ボカシ」作りやその販売、生ごみ処理講習会の開催等の活動を通じて、生ごみを中心としたごみ削減の普及啓発に取り組んでおります。 ごみ減量推進に向けた事業につきましては、今後、各市町において事業拡充や支援について検討してまいります。
32	豊郷町	第5章 豊郷町 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 第2節 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 6. ごみ処理施策 (1) ごみ減量に向けた方策 3) 豊郷町の取組	全体として、彦根愛知犬上広域行政組合の「新ごみ処理施設整備基本計画」にそつた各種計画となっているが、豊郷町の独自減量計画をもっと構想すべきである。 豊郷町は、一早く生ごみ分別回収を始めてきた。これを全世帯の半分ぐらいに広げれば、可燃ごみの減量は可能と考えられる。不燃ごみを減らすためには、多品目の分別資源化を町民との協働でいかに取り組むかが重要である。それを実現していくためには、豊郷町版エコドームが必要である。新規に作らず、既存の公共施設（高野瀬地先にある旧水耕栽培施設群）の利活用で、生ごみ堆肥化拡大、町民の資源ごみ持込システム作りを実施すれば、不燃ごみ削減は可能である。さらにごみ問題の啓発活動もでき、町内高齢者雇用も増えると考ええる。	家庭系生ごみの減量化につきましては、堆肥化を推進し、より多くの町民の皆様にご協力いただけるようにいたします。 燃やさないごみおよび資源ごみの処理方針は、新ごみ処理施設供用開始までは事業者への処理、新ごみ処理施設供用開始後は一部の古紙・衣類および集団回収を除き新ごみ処理施設に収集し、資源化業者に引き渡す予定としています。
33	豊郷町	第5章 豊郷町 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 第2節 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 6. ごみ処理施策 (1) ごみ減量に向けた方策 3) 豊郷町の取組	住民のごみ削減への意識を高めるためにこそ力を注ぐべきである。 豊郷町では、およそ30年前においては「3リユース運動」が広がろうとしていた。自治会および婦人会等での学習会、リサイクル施設の視察等の取組もされていた。そこに、湖東広域ごみ処理施設「リバースセンター事業」への参入が提案され、「何でも燃やせる」という方向に舵が切れ、平成9年度から「リバースセンター事業」に参入したことにより、ごみ削減への住民意識が削がれた。リバースセンターは、夢のごみ処理施設と名を売っていたものの、結果的には、仕上がった固形燃料を焼却材として利用する企業が減少傾向にある。 今こそごみ削減への住民意識を高め、あらゆる手段でごみ削減に取り	本計画で設定したごみ減量目標の1つである、「燃やすごみの1人1日当たり排出量（g/人・日）について、令和13年度に令和元年度実績値比で15%削減」を達成するためにはあらゆる施策の実施が必要と考えており、その中に生ごみの堆肥化も含んでいます。生ごみ堆肥化の事業化については、先進事例等を参考にしながら、今後検討いたします。

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
			<p>組むべき時期に来ていると思う。幸い、豊郷町の場合は、田んぼや畑がまだ多く残っていて、コンポスト利用により自家処理する手立てを打つことができる。また、田畑を持たない人や新興住宅地においても、ごみ削減への学習と啓蒙をすれば生ごみ収容ボックスの設置を増やすことが可能である。この形で、生ごみの堆肥化がもっと進めば、「燃やすごみ半減」に貢献できる。</p> <p>「生ごみは資源」の立場で先進的に頑張っている豊郷町として、燃やさずに「堆肥化事業を拡大」することに力を注いでもらいたい。</p>	
34	豊郷町	<p>第5章 豊郷町 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 第2節 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 6. ごみ処理施策 （1）ごみ減量に向けた方策 3）豊郷町の取組</p>	<p>リユースとリサイクルは、住民意識が高まれば実現可能である。その意義と取り組み方法を知れば、参加する方が増える。広報やホームページに掲載するだけでなく、ITに疎い世代でも理解できるように、身近な場所で「出前講座」を頻繁に行うことを提案する。</p> <p>また、「ごみ減量・資源化」に先進的に取り組んでおられる自治体の担当者を招聘して、講演会や見学会等にも取り組んでもらいたい。</p>	<p>ご意見のとおり、ごみ処理施策の推進には、住民の皆様にご理解・ご協力いただくことが重要です。ごみ減量をはじめ、ごみ処理施策の推進に向けて、情報提供方法の工夫、対話型の啓発活動のほか、体験型イベントの実施等により継続的な啓発に努めてまいります。</p> <p>また、自治体職員を含め、先進事例に取り組まれている方々に講演を依頼すること等も検討し、住民の皆様のごみ減量意識の向上に努めてまいります。</p>

(3) すでに計画（案）に記載済みのもの

No	意見提出者 在住市町	該当項目	意見の概要	1市4町の考え方
35	甲良町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策 (1) ごみ減量に向けた方策	毎日、私達は嫌でもごみに囲まれており、また、ごみは処理を経由して私達の環境に多大な影響を及ぼしている。これは誰もが否定できない歴然たる事実である。人間の良心に働きかければ、極力ごみを排出しなせず、焼却、埋立をしなくてもよい方法はないか、知恵や工夫が生まれてくると私は信じている。 具体的に、「1、生ごみの乾燥、堆肥化」「2、プラスチック、容器包装紙の分別・リサイクル」「3、剪定枝・刈り取り草の別処理」「4、古紙・段ボール・雑誌類の徹底回収」「5、白トレイだけでなく色トレイも分別」「6、ペットボトルは極力控えマイボトルを利用」等の実施により、かなりのごみ減量が達成できると考えられる。	ご意見いただいたごみ減量に向けた具体策につきましては、1市4町ともいずれも重要なものと考えており、概ね本計画に記載しております。今後は、住民および事業者の皆様に向けて啓発・周知に取り組んでまいります。
36	豊郷町	第2章 彦根愛知犬上地域のごみ処理について 第2節 彦根愛知犬上地域のごみ分別方法統一方針、ごみ減量目標等について 4. ごみ処理施策 (4) 環境啓発活動	市町別に身近なところで環境啓発活動を体験できるように、実施回数および目標人数を増やしてもらいたい。また、子ども達が学習できる機会を増やしてほしい。	環境啓発活動につきましては、本項目に記載する1市4町が共同して実施する環境啓発イベント以外にも、各市町では独自に自然観察会等の体験活動を実施しております。 1市4町とも環境啓発活動は重要なものと考えていることから、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の住民の方々に体験・参加いただける環境啓発活動の充実を図っていくことを各市町の計画の「ごみ処理施策」にも記載し、推進していくこととしております。

(4) その他

本計画に直接関係しないご意見につきましては、意見項目およびその件数をご報告いたします。

意見項目	件数	備考
新ごみ処理施設整備事業に対する意見	12件	彦根愛知犬上広域行政組合において対応する内容であることから、回答はいたしません。
彦根愛知犬上広域行政組合議会 議員数に対する意見	1件	彦根愛知犬上広域行政組合議会において審議する内容であることから、回答はいたしません。
彦根愛知犬上広域行政組合 1市4町負担金に対する意見	3件	彦根愛知犬上広域行政組合議会において審議する内容であることから、回答はいたしません。